

令和7年度 みんなで認知症を考える月間事業 実施報告

世界アルツハイマーデーおよび認知症の日（9月21日）に合わせて、丹波篠山市では9月を「みんなで認知症を考える月間」とし、市全域で認知症に関する周知啓発に取り組み、認知症について関心をもち、考える契機づくりとする。

実施時期	9月1日（月）から9月30日（火）
テーマ	『認知症と共に笑顔で暮らせるまちに！』
実施内容	■ポスター掲示とオレンジ色の装飾、チラシ配置による啓発 ・市役所 本庁舎1階玄関ホール及び窓口 第2庁舎1階玄関ホール及び窓口 ・支所 窓口 ・その他公共機関 東部・西部地域包括支援センター、社会福祉協議会、丹南健康福祉センター、中央図書館等 ・民間事業所等 郵便局、金融機関、医療機関、歯科医院、薬局、マメに見守り隊協定事業所（コープ、第一生命等）、理美容店、通所系介護サービス事業所（通所リハビリテーション、通所介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護等） ※マメに見守り隊はチラシの配置。一部訪問先で配布 【参考】 啓発チラシ内容 チラシ（表） チラシ（裏） マメ隊PRチラシ（表） マメ隊PRチラシ（裏） ■庁舎ライトアップ（9/19～9/26）・横断幕の設置 ・9/19～9/26の期間中、市役所庁舎を認知症支援のシンボルカラーである「オレンジ」にライトアップ ・庁舎前に本事業のテーマの横断幕を設置 本庁舎・第二庁舎ライトアップ 本庁舎横断幕 ■街頭キャンペーン 市内の商業施設（コーナン、フレッシュバザール、ザ・ビッグ、バザールタウン篠山NEWS館・STOCK館）にて啓発ティッシュとチラシを配布 協力：認知症のひとと家族の会（兵庫支部）、篠山産業高校 インターアクト部、篠山鳳鳴高校インターアクト部、丹波篠山市キャラバン・メイト ■広報誌等による周知啓発 市広報9月号特集記事に月間の取り組みおよび認知症の早期発見について掲載



■展示による周知

- ・ 市役所本庁舎および第二庁舎ロビーにて、認知症についての情報提供や市の取り組みについてパネル展示
- ・ 本庁および各支所のデジタルサイネージで月間啓発チラシを表示
- ・ 中央図書館展示コーナーにて認知症に関するパネル展示と関連する書籍を設置



市役所本庁 1 階ロビー

本庁・各支所 デジタルサイネージ



ロバ隊長フェルトマスコット作成チーム
市内の居宅介護支援事業所（ケアマネジャー等）



中央図書館

■市内高校との連携

- ・ 月間に合わせて市内3つの高校による啓発活動の協力
- ・ 各高校での認知症サポーター養成講座の実施



篠山東雲高校 地域農業科
オレンジ色のマリーゴールドの栽培（市役所玄関前にプランターを設置）



篠山産業高校 インターアクト部
市内商業施設での街頭キャンペーン活動の協力



篠山鳳鳴高校 インターアクト部
市内商業施設での街頭キャンペーン活動の協力